

第1学年「データの分析」単元指導構想図

- ・平均（小5）
- ・帯グラフと円グラフ（小5）
- ・データの活用（小6）

目的に応じて資料を収集し、表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目して、その資料の傾向を読み取ることができる。

- ・四分位範囲と箱ひげ図（中2）
- ・確率とその求め方（中2）
- ・母集団の数量の推定（中3）

<学びに向かう力、人間性等>

- ・ヒストグラムや相対度数を用いて、データを多面的に捉えて考えたり、粘り強く考えたりしている。
- ・データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程をふり返って検討したりしている。
- ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率のよさに気づいて粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、それらを利用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。

<数学的な見方・考え方>

- ・いくつか調べて予想する
- ・同じように考える
- ・筋道を立てて考える
- ・考えやすい条件にする
- ・特別な場合を考える
- ・いつでもいえるように考える
- ・まとめて一つとみる
- ・条件を変えて考える
- ・多面的に考える
- ・根拠をもとに説明する

<知識及び技能>

- ・ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解している。
- ・表やグラフに整理したり、範囲や代表値などを求めたりすることができる。
- ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。
- ・相対度数を計算して確率を求めることができる。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し、判断することができる。
- ・多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、表現することができる。

第1学年 第7章 データの分析

単元指導計画

時	学習内容	知識・技能	思判表	主体的な態度	評価方法（記録）	指導に生かす評価（行動観察）
1	範囲と度数分布	知①				・「範囲」、「階級の幅」を理解している ・度数分布表に表すことができる
2	ヒストグラムと度数分布多角形		思①		思①：ノート	・適切な階級の幅について考察し、その傾向を読み取っている
3	相対度数		思①	態①	思①態①：ノート	・相対度数を用いる必要性について考察し、傾向を読み取っている ・ヒストグラムや相対度数などのよさに気づいて粘り強く考えている
4	累積度数と累積相対度数		思①			・累積度数、累積相対度数それぞれで表すことのよさについて考察し、傾向を読み取っている
5	分布のようすと代表値（1）	知②			知②：Excel	・「階級値」、「最頻値」を理解している ・度数分布表を使って、代表値を求めることができる
6	分布のようすと代表値（2）		思①	態①	思①：ノート 態①：振り返り	・適切な代表値を用いて、資料の傾向を読み取っている ・データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしたりしている
7	たしかめよう	知①		態①	知①：ノート 態①：振り返り	・問題に自分で粘り強く取り組んだり、学び直したりしている
8	起こりやすさ	知①③				・相対度数を使って、起こりやすさの度合いを求めることができる
9	相対度数と確率	知①③				・「確率」の意味を理解している
10	自動車の燃費を比べよう	知②	思①	態①	知②：Excel	・資料を様々な方法で整理し、多面的に捉え、傾向の傾向を読み取っている ・学んだことを生活や学習に生かそうとしたりしている
11	ダイビングツアーを選ぼう		思②	態②	思①②：ノート 態①②：振り返り	
12	7章をふり返ろう	知①③	思②		知①③思②：ノート	・問題に自分で粘り強く取り組んだり、学び直したりしている

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解している ② コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる ③ 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している	① 目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し、判断することができる ② 多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、表現することができる	① ヒストグラムや相対度数などのよさに気づいて粘り強く考えたり、データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしたりしている ② 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率のよさに気づいて粘り強く考えたり、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたりしている